令和７年度　入学生

普　通　科

進学コース

科・コースガイド

高崎商科大学附属高等学校

１．はじめに

合格おめでとうございます。

ようこそ普通科進学コースへ。このガイドはみなさんが進学コースで学ぶために，ぜひ知っていただきたい事柄，理解していただきたい事柄ばかりを集めて編集されました。

中学までとは違って，高校では学ぶべきことも，より難しく複雑になっていきます。このガイドを活用して自らの進むべき進路をしっかりと見定めてほしいと思います。また，そのためには入学後も折にふれてこのガイドを手に取っていただくことが大切です。

２．進学コースとは？

大学・短大・専門学校進学に対応

大学または短期大学・専門学校，医療系の短大・専門学校など幅広い進学に対応したコースです。2年次から希望により文理に分かれます。また有意義な高校生活にするため，クラブ活動への参加を奨励し，学習と両立をさせながら希望校への合格を目指します。

３つの特徴

●勉強とクラブの両立

クラブ活動が盛んで，学習と両立させながら大学に進学する先輩がたくさんいます。

●進路別の選択

２年次より，自分の進路希望に合わせて文系・理系のクラスを選択します。

●総合的探究の時間

グループまたは個人で設定した課題について，情報の収集・データの整理分析・まとめ・表現の過程を経て発表します。１年次は１単位で進路探究からスタートし，２年次以降の探究活動の基礎知識を学びます。

３．進路について（２年からは文系か，理系か）

キャリアプランづくりはまず「自己発見」から

キャリアプランとは「自分の生き方を考える」ことです。これから皆さんが社会に出ていくまでの間には，高２の文理選択に始まって，高３での進路選択など，自分で判断し決定を下していかなければならない時期があります。

もちろん，ただ何となく決定しても，決められたコースに乗っていくことは可能でしょう。しかし，そうした他者依存的な考え方が，進学した学校が自分に合わない，描いていたイメージと違うといった「不本意入学による進路変更」を生み出す原因となっているのです。せっかくの自分の将来だからこそ前向きに，能動的に考えるべきでしょう。それぞれの時期にはどんな点がポイントとなるのかを述べていきましょう。

●文理選択

コース選択のポイントは自分の将来の進路との関連性、教科への興味関心

高校入学後，皆さんが最初に自分で決定しなければならないこと。それが「文理選択」です。文系・理系のどちらかを選ぶことによって，その後の大学進学にも大きな影響を及ぼすため，文理選択は慎重に行われなければなりません。

では，何を基準に文理選択をすればいいのかといえば，第一に自分の進路と関係するかどうかです。大学や、専門学校へ進学する場合、学部や系統によっては理系が好ましい、文系が好ましいといった進学先もあります。漠然とでも将来の仕事を考慮に入れて選ぶのもベターといえます。

第二には，やはり自分が興味のある学問分野は何かを基準に選択することです。好きな科目が多い系統を選択したほうがやる気もでますし、成績の向上にもつながることが多いです。

１年次では探究の時間で、進路探究ワークを使用し，まずは自分を知ることから始めます。５月末の模擬テストの結果も考慮に入れ夏休みを目安に文理選択を決めていきます。

●進学

専門知識＋教養なら大学・短大，実践的な知識・技術なら専門学校

大学は専門に対する深い知識とともに，社会のどんな分野でも必要な幅広い視野と人間性を養うことを目的としています。短大や専門学校では，より実用的・実務的な知識と技術を身に着けることを目的としていますが，短大では大学と同じように専門分野と並んで教養科目も学びます。これに対して，専門学校は社会で即戦力になる実践的な教育を行うことが主体で，カリキュラムの大半は専門科目で占められ，実習などの実践的科目のウエイトも極めて高くなっています。

●進路を決める考え方

①自分の興味・関心はどこにあるのか？将来の夢は？

②夢を実現するためには何を学ばなければならないのか？

③それを学べるのはどの学部・学科か？

④大学選び…研究内容・学生数・生活環境・費用・地理など

⑤その大学に合格するにはどのくらい学力を伸ばせばよいのか？

何を学びたいのか，どんな職業に就きたいのか，人生の未来の構想を作ることが先決！

●進路選択の３つのポイント

①就職展望をもって学部を探そう

例えば，建築士になりたい→工学部　建築学科，土木学科

薬剤師になりたい→薬学部

弁護士になりたい→法学部

②得意科目は何か？もう一歩つっこんで考えよう

例えば，英語が好き　英文学を読みたい→文学部　英文学科

英語を話したい→外国語学部　英語学科

英語圏の文化を知りたい→国際関係学部　英米文化学科

③苦手科目から逃れるための学部選びはやめよう

●よりよい進路選択のために

①文理の決定

・将来の職業（進路目標）を考える

・自分の進路目標にかなった学校へ入学するため，文理を選択する。

②志望校選びで重視すること

・大学重視……「就職が有利」「学生生活・課外活動を楽しむ」

・学部・学科重視……「学問研究」「就職に必要な技術・資格の習得」「教養や視野の拡大」

③志望校の選択・決定

・自分を知る

a）興味と感心……自分の興味や関心を認識する

b）人生観と職業価値観……自分の生き方や夢を設計する

c）適性・能力・学力……自分の適性・能力・学力を把握する

d）家庭の事情……地理的・経済的条件を把握する

・現実を知る

a）職業・学問の情報……将来展望・資格取得

b）進学先の情報……設置学科・研究内容・学風・就職状況

c）入試の情報……入試科目・難易度・日程・募集形態

４．進学コース指導計画

■1 年進学コースの指導計画

科・コースの目標

高校生としての基本的生活・学習習慣を身に付け，進路目標を持つ。

・欠席・遅刻しない規則正しい生活の確立と校則の厳守
・わかるまで，できるまで根気強く取り組む
・提出物・課題等の提出期限を守る
・2 年次からの文理選択を決定する

科・コースの教育内容の特色（行事）

4 月　スタディサポート
5 月　進路適性検査　生徒個人面談
6 月　保護者面談　父母の会学年学級懇談会
7 月　2 年次からの文理希望調査
8 月　スタディサポート
12 月　生徒個人面談
3 月　商科大学見学会　進学模擬試験　観劇

【国語科　シラバス】

科目名	現代の国語			使用教材	教科書	新編　現代の国語（東京書籍）
学　年	1	単位数	2		副教材	学習課題ノート（東京書籍） 漢字ベーシック（明治書院）
科・コース	普通科　進学コース・総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のうち、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の配当時間が多い科目です。

【学習方法と授業の進め方】

評論文やレポート、官公庁の発行物、規約などの実用的な文章を扱います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の配当時間が多く、話し合いや発表、記述による学習が中心となります。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っているか。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしているか。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解しているか。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解しているか。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めているか。 ・引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深めているか。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めているか。	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	・目的や場に応じて，実社会の中から適切な話題を決め，様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討できているか。 ・自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫しているか。 ・論理の展開を予想しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしているか。 ・文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握しているか。 ・目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めているか。	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、文章の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持とうとしているか。 ・積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように文章の効果的な組み立てや接続の仕方を意識して自分の意見を文章としてまとめ、発表や話し合いをしようとしているか。	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど
・授業に臨むに当たって、読み、意味調べなどの予習は最低限やっておきましょう。 ・こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。 ・提出物の期限は厳守しましょう。 ・積極的に読書をし、生活や人生について考えを深めましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	1 自己を見つめる	【読むこと】「こそそめスープ」村田沙耶香 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 【話すこと・聞くこと】「気になるニュースについて話そう」 情報を整理し、内容や構成に注意して話す。		
	5	2 他者に出会う	【読むこと】「水の東西」山崎正和 「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。		
	6	2 他者に出会う	【書くこと】「集めた情報の内容を検討して意見文を書こう」 情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。		
	7	3 言葉と生活 1	【話すこと・聞くこと】「分かりやすい説明をしよう」 【読むこと】「異なる種類の文章を読み比べよう」		
第2学期	9	4 視野を広げる	【読むこと】「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」塚谷裕一 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 【話すこと・聞くこと】「情報を整理して話し合おう」 話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。	15	
	10	5 社会と関わる	【読むこと】「鍋洗いの日々」村上信夫 自分の道を切り開いた筆者の体験談から仕事に対する思いを読み取る。 【書くこと】「憧れの職業について調べ、まとめよう」 調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。	8	
	11	6 言葉と生活 2	【話すこと・聞くこと】「発想を広げる方法を使って話し合おう」 発想を広げてアイディアを整理し、まとめる。		
	12	6 言葉と生活 2 7 世界とつながる	【書く】「新聞記事を読んで意見文を書こう」 記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。 【読むこと】「美しさの発見」高階秀爾 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。		
第3学期	1	7 世界とつながる	【書くこと】「読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう」 助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。		
	2	8 世界に目を向ける	【読むこと】「真の自立とは」鷲田清一 「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち。視野を広げる。 【話すこと・聞くこと】「資料を活用して発表しよう」 発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	17	
	3	1 年次のまとめ	1 年次のまとめ		

【国語科　シラバス】

科目名	言語文化			使用教材	教科書	新編　言語文化（東京書籍）
学　年	1	単位数	2		副教材	学習課題ノート（東京書籍）
科・コース	普通科　進学コース・総合ビジネス科総合ビジネスコース					

【授業の概要】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のうち、「読むこと」の配当時間が多い科目です。

【学習方法と授業の進め方】

古典や近代以降の文章を扱います。文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを学び、作品や文章の歴史的・文化的背景などへの理解を深めます。また、異なる時代に成立した随筆や小説，物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動を行います。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っているか。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしているか。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解しているか。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めているか。	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしているか。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫しているか。 ・作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈しているか。 ・文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価しているか。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めているか。 ・作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっているか。	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	・進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、登場人物の心の動きを読み取ろうとしているか。 ・進んで筆者のものの見方や感じ方を捉えて作品を読み味わおうとしているか。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしているか。 ・進んで文語のきまりや古典特有の表現、漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しをもって古典を学ぶ意義について考えを持とうとしているか。	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・授業に臨むに当たって、読み、意味調べなどの予習は最低限やっておきましょう。
・こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。
・提出物の期限は厳守しましょう。
・積極的に読書をし、生活や人生について考えを深めましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	現代文編　1随想	【読むこと】「さくらさくらさくら」俵　万智 引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 「言語活動『花』といえば『桜』」？ 現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持つ。		
	5	古文編　1古文入門	【読むこと】「古文に親しむ」 それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 「児のそら寝（宇治拾遺物語）」 歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 古文学習のしるべ１～３		
	6	漢文編　1漢文入門	【読むこと】「訓読の基本」 漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 「借虎威（戦国策）」 故事成語の元となった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。	16	
	7	現代文編　2小説1	【読むこと】「とんかつ（三浦哲郎）」 会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。		
第2学期	9	古文編　2随想	【読むこと】「亀山殿の御池に（徒然草）」 「雪のおもしろう降りたりし朝（徒然草）」 随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。		
	10	漢文編　2漢詩	【読むこと】「春暁」「黄鶴楼送孟浩然之広陵」「香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁」 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 【書くこと】「訳詩を書く」 元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。		
	11	現代文編　4小説2	【読むこと】「羅生門」芥川龍之介 極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。	16	
	12	古文編　4物語	【読むこと】「芥川（伊勢物語）」 「筒井筒（伊勢物語）」 歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。		
第3学期	1	漢文編　3論語 漢文編　4史話	【読むこと】「学ぶということ」 『論語』を読むことを通して、孔子の思想に興味を持ち、ものの見方や考え方を豊かにする。 【読むこと】「曹公戦於白馬（三国志）」 話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。 【書くこと】「『三国志』の英雄ポスターを作る」 好きな人物を選び、調べて得た情報を的確に整理して、人物像が伝わるポスターを作る。	4	
	2	現代文編　5小説3	【読むこと】「夢十夜（夏目漱石）」 表現に即して小説を丁寧に味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。		
	3	古文編　5紀行	【読むこと】「旅立ち（奥の細道）」 構成に注目しながら、作品に込められた思いを読み取る。 【書くこと】「文学碑を調べる」 地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理する。		

【地歴科　シラバス】

科目名	歴史総合			使用教材	教科書	歴史総合（実教出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	歴史総合演習ノート（実教出版）
科・コース	普通科　特別進学選抜コース・特別進学コース・進学コース					

【授業の概要】

18 世紀から現在に至るまでの近現代史を対象とし、300 年にわたる「世界とそのなかの日本」について学ぶ。世界と日本は深い関係があり、歴史は常に動いている。「歴史は繰り返す」とよく言われるが、私たち人間が同じ過ちを繰り返さないためにも、現代社会がどのような変遷を経て近代化・大衆化・グローバル化して構築されたのか、また現代社会が抱える諸問題はどのように形成されたのか等を、世界と日本の歴史を比較・関連づけて多面的・多角的に考察し、歴史的なものの見方・考え方を身につけ、現代に生かせる知識を過去から学び歴史的思考力を養う。

【学習方法と授業の進め方】

中学までの学習及び「歴史の扉」の学習をふまえ，諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を取得し，人々の生活や社会のあり方が近代化にともない国際社会とのかかわりの中でどのように変化したかを考察する。歴史は暗記するだけの科目ではないので、5W１H を意識して、歴史的事象を時期・推移などに着目し、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けるなどして多角的・多面的に理解し、歴史的な見方や考え方を通して現代社会が抱える諸問題に繋げて考察し、発表や討論等を通して表現力を身に着けるとともに、他者理解を深めていく。

【学習評価】

定期考査及び下記の観点別評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・歴史の変化・発展の背景には原因・結果の法則があることを理解できたか。 ・諸資料を活用して的確な情報を収集・選択し、読み取り理解できたか。 ・近代社会が形成される歴史的過程と生活・文化の地域的特色について基本的な事柄を理解し、その知識を身につけることができたか。 ・課題やレポート作成において，的確に表現する方法を習得しているか。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	・歴史の変化・発展の背景には原因・結果の法則があることを説明できるか。 ・自分と違う考え方の人と話し合うことで深く考えることができたか。 ・課題やレポート作成において，多面的・多角的に考察して歴史的思考力を養い、的確に表現することができたか。	・定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題） ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	・歴史に興味関心を持ち、歴史的なものの見方・考え方をしているか。 ・諸資料を積極的に活用し、的確な情報を収集・選択して読み取ったりまとめたりする態度が見えるか。 ・授業に意欲的に参加し，現代社会の身近な諸問題と関連付けた主題を設定し、社会的事象の歴史的な背景などを説明・論述・言語活動を通じて論理的に探究しようとする態度が見えるか。 ・学習内容について振り返り，日常生活や社会に生かそうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・討論や発表 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・予習　教科書・演習ノートを参考に、どんなことを学ぶのかを把握する。
・授業　授業で学ぶ知識には構造があるので、丸暗記ではなく、関連性を持たせて理解する。
・復習　歴史の流れや原因・結果を考えながら教科書を読み、学んだことをその日のうちに理解する。わからないところは自ら調べ、友達や先生に質問する。
・演習　教科書・演習ノートのアクティブで学んだ知識を活用して、諸資料を使用し多面的・多角的に考察しながら、的確な表現の仕方を身に着け、演習ノートの章末問題をやる。
・ノート　ノートは第２の記憶。早く見やすく書く。板書以外の口頭説明も必要に応じてメモをとる。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1編　近代化と私たち 第1章　近代化への始動 1．江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2．江戸時代の生産・流通と諸改革 3．幕政の改革と東アジア世界	○17 世紀に東アジアでできた体制について ○商品作物の生産と流通が国内外に与えた影響 ○欧米諸国の接近に対して日本と清がとった対応	9	
	5	第2章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 4．イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5．フランス革命とウィーン体制 6．アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7．オスマン帝国の衰退とロシア 8．アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9．江戸幕府の滅亡	○イギリス産業革命やアメリカ独立戦争の原因・展開・結果 ○フランス革命とウィーン体制下の政治体制の変化 ○領土拡大下で生じたアメリカ合衆国の問題。 ○東方問題とロシアやオスマン帝国の変化 ○アヘン戦争に対する東アジア諸国の対応 ○将軍や各藩がつくろうとした政治体制	1 3 9 10 16	
	6	第3章　欧米諸国と日本の国民国家形成 10．イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 11．明治政府の諸改革 12．日本のアジア外交と国境問題 13．自由民権運動と大日本帝国憲法	○19 世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツにおける政治上の動き ○明治政府がすすめた国づくり ○日本の国境画定 ○自由民権運動がめざした国家とは何か	4 9 10 16	
	7	第4章　帝国主義の時代 14．帝国主義の時代へ 15．朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16．日清戦争後の東アジア 17．日露戦争と東アジアの変動 18．日本の産業革命	○なぜ欧米諸国は帝国主義政策をすすめたのか。 ○日清戦争の目的は何か ○日本と中国や朝鮮との関係の変化 ○日露戦争の影響 ○産業革命による日本の経済と社会の変化	4 9 10 16	
第2学期	9	第2編　国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章　第一次世界大戦と大衆社会 19．第一次世界大戦 20．ロシア革命とソ連の成立 21．米騒動と大正デモクラシー	○第一次世界大戦はなぜ世界を巻きこんだのか ○ソヴィエト政権はなぜ人々から支持されたのか，また革命が成功した背景は何か ○米騒動のなかで人々が求めたものは何か	1 5 10 16	
	10	22．ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23．アジアの民族運動 24．第一次世界大戦後の欧米諸国 25．ひろがる社会運動と普通選挙の実現	○大戦後の国際秩序構築の目的 ○第一次世界大戦後のアジア各地でなぜ民族運動が活発になったのか ○第一次世界大戦後の欧米諸国の動き ○社会運動をになった人々が求めたものは何か	3 5 10 16	
	11	第6章　経済危機と第二次世界大戦 26．世界恐慌と各国の対応 27．ファシズムの時代 28．満洲事変と軍部の対立 29．日中戦争と戦時体制	○世界恐慌が各国の経済や人々の生活に与えた影響 ○ヒトラー率いるナチ党政権の特徴 ○日本の国際的孤立への道 ○中国との戦争が長期化したのはなぜか	9 3 8 10 16	
	12	30．第二次世界大戦の勃発 31．第二次世界大戦の終結 32．国際連合の成立と冷戦 33．日本占領と日本国憲法 34．朝鮮戦争と日本	○ヨーロッパでの戦いと日中戦争との関連性 ○戦争の終結について ○国際連合は設立の目的をはたせてきたか ○民主化政策による日本の変化 ○朝鮮戦争による連合国の対日占領方針の転換	3 4 5 10 16	

第3学期	1	第3編　グローバル化と私たち 第7章　冷戦と脱植民地化 35. 植民地の独立 36. 米ソ両陣営の動揺 37. 日本の国際社会復帰と高度経済成長	○旧植民地の独立達成の経緯 ○強大な軍事力をほこった米ソの影響力がなぜ弱まっていったのか ○冷戦が与えた日本の政治と外交の変化	3 5 10 16	
	2	第8章　多極化する世界 38. 石油危機と世界経済 39. 緊張緩和から冷戦の終息へ 40. 日本の経済大国化	○石油危機以後の世界の変化 ○冷戦の終結に影響を与えた米ソの動き ○バブル経済はなぜ崩壊したのか	1 7 9 16	
	3	第9章 41. 地域紛争と対立 42. 国際秩序の変容	○冷戦後の地域紛争の原因は何か。 ○グローバル化がすすむなかでの各国の動向	17	

【公民科　シラバス】

科目名	公共			使用教材	教科書	高等学校 新公共(第一学習社)
学　年	1	単位数	2		副教材	新公共ノート(第一学習社)
科・コース	普通科　特別進学選抜コース・特別進学コース・進学コース　　総合ビジネス科					

【授業の概要】

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【学習方法と授業の進め方】

基本的には教科書を中心に進めていきます。図や統計などの読み取りから，観察力・考察力や資料活用の力を身につけます。現代の社会の問題や事例と人間にかかわる事柄をもとに授業を展開していき，多面的・多角的な考察や自身の考えをまとめ，知識や理解を深めます。SDG s を念頭においた授業やグループワーク等も実施します。

【学習評価】

定期考査及び下記の観点別評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・定期考査の思考・応用問題 （資料読解・論述問題） ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・討論や発表 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・予習　　教科書・演習ノートを参考に、どんなことを学ぶのかを把握する。
・授業　　授業で学ぶ知識には構造があるので、丸暗記ではなく、関連性を持たせて理解する。
・復習　　現代の諸課題の原因・結果を多角的に考察し教科書を読み、学んだことをその日のうちに理解する。わからないところは自ら調べ、友達や先生に質問する。
・演習　　教科書・演習ノートで学んだ知識を活用して、諸資料を使用し多面的・多角的に考察しながら、的確な表現の仕方を身に着け、教科書の Active Learning の課題や演習ノートの章末問題をやる。
・ノート　ノートは『第２の記憶』、早く見やすく書く。板書以外の口頭説明も必要に応じてメモをとる。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1編 公共の扉をひらく 第1章　公共的な空間をつくる私たち 第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	①社会に生きる私たち　②個人の存減と自主・自律 ③多様性と共通性　④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体を目指して ①人間と社会のあり方についての見方・考え方	4 5 16	
	5	第3章　公共的な空間における基本的原理 第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	①人間の尊厳と平等、個人の尊重　②民主主義と法の支配　③自由・権利と責任・義務　④日本国憲法に生きる基本的原理 ①私たちと法　②法と基本的人権　③自由に生きる権利と法・規範	4 5 16	
	6	主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義	④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範　⑥法をよりよいものにするための権利 ①様々な契約と法　②消費者の権利と責任 ①裁判所と司法　②国民の司法参加	4 5 10 16	
	7	第2章　政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成	①私たちと選挙　②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加　④国会と立法 ⑤内閣と行政　⑥地方自治と住民福祉	16 17	
第2学期	9	主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛	①国家と国際法　②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 ①平和主義と安全保障　②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和	5 10 16 17	
	10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章　経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題	①今日の国際社会　②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 ①私たちと経済　②労働者と権利 ③労働環境と課題	5 8 10 16	
	11	主題9 社会変化と職業観	①日本経済のこれまでとこれから　②技術革新の進展 ③現代の企業　④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業	8 9 14 15	
	12	主題10 市場経済の機能と限界	①市場経済と経済運営　②市場のしくみ ③経済発展と環境保全　④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉	3 8 13	
第3学期	1	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障	①金融の意義と役割　②金融のいま ①財政のしくみと租税　②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉　④これからの社会保障	3 8 17	
	2	主題13 経済のグローバル化	①国際分業と貿易　②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き　④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合　⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題　⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから	1 7 8 10 13 17	
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題	3 7 16 17	

数学科シラバス（普通科進学コース）

科目名	数学Ⅰ			使用教材	教科書	高等学校数学Ⅰ（数研出版）
学　年	1	単位数	3		副教材	Study-Upノート数学Ⅰ（数研出版）

【授業の概要】

数学Ⅰは高校で学ぶ数学の基礎となる科目です。したがって以下の事項を目標とします

1．計算力の充実

2．論理的に考える力を養う

【学習方法と授業の進め方】

1．授業は教科書を中心として、説明・演習の順に進めていきますので、説明が始まったらよく話を聞くようにしてください。

2．計算力をつけるために、教科書や問題集の問題をしっかり解いていきましょう。

【学習評価】

年5回行われる定期考査の成績に宿題などの家庭学習、授業態度、出欠席の回数などを平常点として加え総合的に評価を行います。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	数量関係や図形などの基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈したりする技能を身につける。	定期テスト 小テスト プリント など
②思考・判断・表現	数学を活用し事象を論理的に考察することで、法則や図形などの性質を発見できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表す力を養う。	定期テスト 小テスト プリント グループ学習等の発表 レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学の知識を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決能力を養う。	授業態度 課題提出 など

【留意事項】

【予習】　教科書を読んで、例題を参考に自分で問題を解いてみてください。

【授業】　予習でわからなかったところを解決するつもりで臨んでください。演習の答え合わせはどこをなぜ間違えたかを考えながら行ってください。

【復習】　自分の手で何度も解きなおします。宿題以外に問題集も各自解き進めておいてください。

※　ノートは途中の計算もきちんと記入する！　　※　わからないところはそのままにせずに必ず質問を！

年間指導計画

	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	・数と式 式と計算	多項式の加法減法　多項式の乗法　因数分解	4	
	5	実数 一次不等式	実数　根号を含む式の計算 不等式の性質　一次不等式　絶対値を含む方程式･不等式		
	6	・集合と命題	集合　命題と条件　命題と証明		
	7	・2 次関数 2 次関数とグラフ	関数とグラフ　2 次関数のグラフ		
第2学期	9	2 次関数の値の変化 2 次方程式と 2 次不等式	2 次関数の最大・最小　2 次関数の決定 2 次方程式　2 次関数のグラフと x 軸の位置関係		
	10	・図形と計量 三角比	2 次不等式 三角比　三角比の相互関係　三角比の拡張	9	
	11	三角形への応用	正弦定理　余弦定理　正弦定理と余弦定理の応用		
	12		三角形の面積　空間図形への応用		
第3学期	1	・データの分析	データの整理　データの代表値 データの散らばりと四分位数		
	2		分散と標準偏差　2 つの変量の間の関係 仮説検定の考え方		
	3	まとめ	まとめと演習		

数学科シラバス（普通科進学コース）

科目名	数学 A			使用教材	教科書	高等学校数学 A（数研出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	Study-Up ノート数学 A（数研出版）

【授業の概要】

数学 A は高校で学ぶ数学の基礎となる科目です。したがって以下の事項を目標とします
1．計算力の充実
2．論理的に考える力を養う

【学習方法と授業の進め方】

1．授業は教科書を中心として、説明・演習の順に進めていきますので、説明が始まったらよく話を聞くようにしてください。
2．計算力をつけるために、教科書や問題集の問題をしっかり解いていきましょう。

【学習評価】

年 5 回行われる定期考査の成績に宿題などの家庭学習、授業態度、出欠席の回数などを平常点として加え総合的に評価を行います。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	数量関係や図形などの基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈したりする技能を身につける。	定期テスト 小テスト プリント など
②思考・判断・表現	数学を活用し事象を論理的に考察することで、法則や図形などの性質を発見できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表す力を養う。	定期テスト 小テスト プリント グループ学習等の発表 レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学の知識を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決能力を養う。	授業態度 課題提出 など

【留意事項】

【予習】　教科書を読んで、例題を参考に自分で問題を解いてみてください。
【授業】　予習でわからなかったところを解決するつもりで臨んでください。演習の答え合わせはどこをなぜ間違えたかを考えながら行ってください。
【復習】　自分の手で何度も解きなおします。宿題以外に問題集も各自解き進めておいてください。

ノートは途中の計算もきちんと記入する！　　※　わからないところはそのままにせずに必ず質問を！

年間指導計画

	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	・場合の数と確率 場合の数	集合の要素の個数　場合の数 順列	4	
	5	確率	組み合わせ 事象と確率		
	6		確率の基本事項		
	7		独立な試行の確率		
第2学期	9		条件付き確率		
	10		期待値		
	11	・図形の性質 平面図形	三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心		
	12		三角形の外心・内心・重心		
第3学期	1		チェバの定理・メネラウスの定理		
	2		円に内接する四角形		
	3		２つの円		

【理科　シラバス】

科目名	化学基礎			使用教材	教科書	新編　化学基礎（数研出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	リード light 化学基礎（数研出版）
科・コース	普通科　進学コース					

【授業の概要】

主体的に物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【学習方法と授業の進め方】

① 授業は、担当者作成のプリント、教科書などを使用して進めていきます。
② 板書事項をノートの写し取るだけでは定着しません。先生の説明を自分でかみ砕き反芻して理解に努めてましょう。
③ 授業内容の復習や問題演習などしっかり取り組むこと。復習が最重要です。
④ 新聞やテレビなどの科学的な話題に目を向け、興味や関心を持つように心がけよう。

【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に判断する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・課題への取り組み
②思考・判断・表現	・観察，実験などを行い，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈，報告書の作成や発表などの探究の方法を習得し，科学的に探究する力を身に付けている。	・定期考査の思考・応用問題（資料読解・論述問題） ・課題への取り組み ・観察・実験等
③主体的に学習に取り組む態度	・物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・観察・実験・発表等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・化学の計算、考え方は「比」です。「1mol44g、0.2mol は何 g か」のように比計算を中心に考えるとよいでしょう。
・化学の知識は最初から最後まで連動しています。分からなくなったとき、教科書の最初に戻る勇気が必要です。場合によっては、中学校の教科書に戻ることも大切です。
・目に見えない小さなモノを扱うので、イメージが最重要になります。同じ二酸化炭素ですが、ドライアイスと気体の二酸化炭素の状態では、どのような違いがあるでしょうか。また、皆さんならドライアイスと気体の二酸化炭素を絵で描きなさいと言われたとき、どんな絵にするでしょうか。水中に溶けている二酸化炭素（＝炭酸水）ならどうでしょう。物質の状態を想像・イメージできることは、化学の考え方を助けてくれます。教科書のイラストはぜひチェックしてください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	序章　化学の特徴	・身近な物質を探究する活動を通して，物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。 ・身近な物質について観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現する一連の活動を通して，科学的に探究する方法について理解する。 ・観察，実験にあたって，安全性の確保や，適切な実験器具の使用と操作による事故防止の方法を身に付ける。その際，試薬の適切な取り扱い，廃棄物の適切な処理など，環境への影響などにも十分配慮する。	9 12	
	5	第1編　物質の構成と化学結合 第1章　物質の構成 第2章　物質の構成粒子 第3章　粒子の結合	・物質の分離や精製などの実験を行い，実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。 ・元素を確認する実験などを行い，単体，化合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度の関係，粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解する。 ・原子の構造及び陽子，中性子，電子の性質を理解する。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。	9	
	6		・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ・イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する	9	
	7		・金属結合及び金属の性質を理解する。 ・身近な結晶の性質を調べる実験を行い，電子配置や化学結合の種類と関連付けて理解する。	9	
第2学期	9	第2編　物質の変化 第1章　物質量と化学反応式	・物質量と粒子数，質量，気体の体積との関係について理解する。		
	10		・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	12	
	11	第2章　酸と塩基の反応	・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	6 14 15	
	12			6 14 15	
第3学期	1	第3章　酸化還元反応	・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。また，酸化還元反応と日常生活や社会との関わりについて理解する。	6 14 15	
	2			6 14 15	
	3	終章　化学が拓く世界	・化学基礎で学んだ事柄が，日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解する。	2 6 9	

【理科　シラバス】

科目名	生物基礎			使用教材	教科書	新編　生物基礎（数研出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	リード light 生物基礎（数研出版） フォトサイエンス生物図録（数研出版）
科・コース	普通科　進学コース					

【授業の概要】

・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【学習方法と授業の進め方】

① 授業は、担当者作成のプリント、教科書、図表などを使用して進めていきます。
② 板書事項をノートの写し取るだけでは定着しません。先生の説明を自分でかみ砕き反芻して理解に努めてましょう。
③ 授業内容の復習や問題演習などしっかり取り組むこと。復習が最重要です。
④ 新聞やテレビなどの科学的な話題に目を向け、興味や関心を持つように心がけよう。

【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に判断する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理･法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	･定期考査の知識･理解に関する問題 ・課題への取り組み
②思考・判断・表現	・生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	･定期考査の思考･応用問題（資料読解・論述問題） ・課題への取り組み ・観察・実験等
③主体的に学習に取り組む態度	・生物の特徴や性質、細胞・器官のはたらき、植生について興味･関心を持ち、調べたり探究活動に臨み理解しようとする態度を持っている。 ・学習内容について振り返り、日常生活や社会に活かそうとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・観察・実験・発表等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・生物基礎は、私たちの身の回りの現象について、生物学の視点から考える教科です。そのため、身の回り・内外の世界に向けて興味関心のアンテナを立てておくことが大切です。
・コロナウイルスによる影響で、中学校時代から休校・部活動停止等、皆さんの生活は大きく変わり、「コロナ」という言葉を聞かない日は無かったでしょう。では、皆さんが「風邪」に罹ったとき、体内で悪さをしているウイルスと新型コロナウイルスは何が違うのでしょうか。そもそも、風邪症状を引き起こすウイルスは何種類くらいあるのでしょうか。今まで考えてこなかったことに関心の目を向けましょう。
・私たちの健康と、身の回りの環境について学び、「よりよく生活するための知識」を存分に吸収する気概で学びに臨んでください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	序章　探究のプロセス 顕微鏡の使い方と顕微鏡観察 第1章　生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 生物の多様性，生物の共通性とその由来，生物に共通する構造－細胞	探究のプロセスや手法を理解する。顕微鏡の使い方を習得する。 多様な生物にも共通性があることを理解する。多様な生物に共通性が見られる理由について理解する.	14 15	
	5	2. エネルギーと代謝 生命活動とエネルギー 3. 呼吸と光合成 呼吸、光合成、エネルギーの流れ、酵素の性質	生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。生命活動にはATPのエネルギーが利用されていることを理解する。 呼吸や光合成では ATP が合成されていることを理解する。生体内の化学反応が，酵素の働きによって振興していることを理解する。	14 15	
	6	第2章　遺伝子とそのはたらき 1. 遺伝情報と DNA 遺伝情報を含む物質－DNA，DNAの構造	DNA の構造を理解する。DNA の塩基配列が遺伝情報となっていることを理解する。	14 15	
	7	2. 遺伝情報の複製と分配 細胞周期と DNA，遺伝情報の複製，遺伝情報の分配 3. 遺伝情報の発現 遺伝情報とタンパク質，タンパク質の合成，細胞の分化と遺伝情報，遺伝子とゲノム	DNA が複製されるしくみを理解する。体細胞分裂の過程で DNA が複製され，分配されることを理解する。 DNA の遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程を理解する。からだを構成する細胞で遺伝子がどのように発現しているかを理解する。		
第2学期	9	第3章　ヒトの体内環境維持 1. 体内での情報伝達と調節 体内での情報伝達，神経系による情報の伝達と調節，内分泌系による情報の伝達と調節	体内での情報伝達が，からだの状態の調節に関係していることを理解する。自律神経系と内分泌系が，からだの状態を調節するしくみを理解する。	3	
	10	2. 体内環境の維持のしくみ 体内環境の維持，血糖濃度の調節のしくみ，血液の循環を維持するしくみ	自律神経系と内分泌系のはたらきによって，体内環境が維持されていることを理解する。	3	
	11	3. 免疫のはたらき からだを守るしくみ，自然免疫，適応免疫，免疫と健康	私たちのからだを守る免疫のしくみを理解する。免疫と，病気や治療法との関係について理解する。	3	
	12	第4章　生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移 植生とその成りたち，植生の遷移，植生の再生	いろいろな植生とその特徴を理解する。植生の遷移の過程と，遷移が進行する要因を理解する。	14 15	
第3学期	1	2. 植生の分布とバイオーム 植生とバイオーム，世界のバイオーム，日本のバイオーム	世界各地には，多様なバイオームが成立していることを理解する。日本に分布するバイオームについて理解する。	14 15	
	2	3. 生態系と生物の多様性 生態系の成りたち，生態系における種多様性，生態系における生物どうしのつながり	生態系がどのように構成されているのかを理解する。生態系の中で，多様な生物がどのように関係して，存在しているのかを理解する。	14 15	
	3	4. 生態系のバランスと保全 生態系のバランス，人間生活と生態系，生態系の保全	生態系のバランスが保たれているとはどういうことかを理解する。人間生活が生態系に与える影響と，生態系の保全の重要性を理解する。	14 15	

【英語科　シラバス】

科目名	英語コミュニケーションⅠ			使用教材	教科書	PANORAMA Ⅰ（大修館）
学　年	1	単位数	3		副教材	PANORAMA 予習・復習ノート・総合英語 be 4th eddition・Data Base 3300
科・コース	普通科進学コース					

【授業の概要】

「聞くこと」・「読むこと」・「やり取り」・「発表」・「書くこと」の 5 領域（スキル）の力を伸ばす活動を行いながらテキスト本文の理解を深め各レッスンの目標（Target Task）を達成できるようにします。
学習したことを踏まえ自分の考えや意見を英語で表現し,それを説明・発表する活動を通して英語で様々な表現ができるようになり学習内容の理解をより深められることを目標とします。

【学習方法と授業の進め方】

授業は新出単語・熟語の意味を確認し,文法項目の説明を加えながら内容を理解し要点をつかめるように英文を読み進めていきます。リスニングでの内容理解の確認や自分の考えや意見の英作文や発表,ペアワークやグループワークなどの活動も行います。また予習・復習ノートを使って各パートの予習や復習を各自で取り組んでもらい,さらに各レッスンのさまざまな形式のまとめ問題を解いて内容理解の確認をします。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・各レッスンの文法項目を用いた文の意味や働きを理解し,文章の内容を理解する技能を身に付けている。 ・各レッスンの文法項目を用いた文の構造を理解し内容に関する話題について情報や考え、気持ちなどを適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 ・各レッスンの文法項目を用いた文の構造を理解し,内容に関する話題について情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝える技能を身に付けている。	・定期考査の「知識・技能」に関する問題
②思考・判断・表現	・聞いた内容について書いてまとめるために,各内容について話された文章の概要や要点を捉えている。 ・読んだ内容について書いてまとめるために,各内容について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 ・クラスメートにわかるように,内容に関する話題について基本的な語句や文を用いて情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしている。	・定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題 ・自分の意見や考えを表現している
③主体的に学習に取り組む態度	・聞いた内容について書いてまとめるために,各内容について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 ・読んだ内容について書いてまとめるために,各内容について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。 ・クラスメートにわかるように,内容に関する話題について基本的な語句や文を用いて情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしようとしている。	・授業中のペアワークやグループワークにおける発言や参加意欲・態度 ・ワークブック等の課題の提出状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・事前に各パートの新出単語や熟語の意味を調べておきましょう。
・英文の内容理解に努めましょう。
・授業中のペアワークやグループワークに積極的に参加しましょう。また発表は自信を持って行いましょう。
・ワークブックやその他の課題の提出を忘れずに行いましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Lesson 1 Words to Live By	Part1: 夢を持つことの力について理解する。 現在形/過去形の使い方 Part2: 努力の大切さについて理解する。 現在進行形/過去進行形の使い方 Part3:人間には複数のチャンスがあることを理解する。未来を表す表現の使い方		
	5	Lesson 2 My English Experience	Part1: Aya の駅での経験について理解する。 助動詞の使い方 Part2: Ryo の海外家族旅行について理解する。 受動態の使い方 Part3: Yui のオンラインでの英語経験について理解する。動名詞の使い方	4	
	6	Lesson 3 Our Feline Friends	Part1: ネコと人間の関係について歴史的経緯を理解する。不定詞の使い方 Part2: ネコの生態についての情報を理解する。 S＋V＋O（that 節）の使い方 Part3: ネコ特有の行動とその科学的説明を理解する。 接続詞の使い方		
	7	Lesson 4 Work in the Future	Part1: 人気の職業の変化について理解する。 現在完了形（完了・結果/経験）の使い方 Part2: 科学技術の進展と職業の変化の関係を理解する。 現在完了形（継続）/現在完了進行形の使い方 Part3: 将来の職業で大切なスキルについて理解する。 S＋V（be 動詞以外）＋C(形容詞)の使い方		
第2学期	9	Lesson 5 My Favorite Food: Rice	Part1: 日本における米づくりについて理解する。 比較表現の使い方 Part2: 日本における米の食べ方について理解する。 S＋V＋O＋to 不定詞の使い方 Part3: 米の栄養価や日本での消費状況について理解する。S＋V＋O＋C（名詞/形容詞）の使い方 Part:4 海外における米の消費や食べ方について理解する。S＋be 動詞＋形容詞＋that 節の使い方	2	
	10	Lesson 6 A Long Way Home	Part1: 主人公の置かれた状況について理解する。 It is~for＋<人など>＋to 不定詞の使い方 Part2: 主人公の身に起きた大きな事件の内容を理解する。前置詞句による修飾表現の使い方 Part3: 主人公の人生の転機となった出来事を理解する。現在分詞による修飾表現の使い方 Part:4: 主人公がとった行動とその結果を理解する。 過去分詞による修飾表現の使い方		
	11	Lesson 7 Can you Read Faces?	Part1: 顔の表情にはどのような力があるのかを理解する。関係代名詞（目的格）の使い方 Part2: 顔の表情についての研究の概要を理解する。 関係代名詞（主格）の使い方 Part3: 微笑みの文化的違いについて理解する。 疑問詞（how など）＋to 不定詞の使い方 Part:4 対面コミュニケーションの意義について理解する。間接疑問の使い方		
	11・12	Lesson 8 Make People Shine: Choreo-director,MIKIKO	Part1: 振付師の仕事について理解する。 仮定法過去の使い方 Part2: Mikiko の主な業績について理解する。 S＋V(使役動詞)＋O＋動詞の原形の使い方 Part3: Mikiko の仕事上の哲学について理解する。 S＋V(知覚動詞)＋O＋動詞の原形の使い方 Part:4 Mikiko の海外での活躍について理解する。 seem/appear＋to 不定詞の使い方		
第3学期	1	Lesson 9 Our Desire to Fly	Part1: 人類と飛行に関する神話や歴史について理解する。関係代名詞 what の使い方 Part2: 人類が飛行を試みた初期の歴史について理解する。関係副詞 where の使い方 Part3: 気球や飛行船による飛行の歴史について理解する。関係副詞 when の使い方 Part:4 飛行機の発明と発達の歴史について理解する。		

			助動詞を含む受動態の使い方		
	2 ・ 3	Lesson 10 Loving the Earth	Part1: R.カールソンの環境保護への貢献を理解する。 過去完了形（完了・結果/経験）の使い方 Part2: アンダーソン飛行士の環境保護への貢献を 理解する。過去完了形（継続）の使い方 Part3: 地球環境の現状と科学者の貢献を理解する。 過去完了進行形の使い方 Part:4 環境保護のために何が必要かについて理解 する。S＋V（be 動詞以外）＋C（現在分詞・ 過去分詞）の使い方	13	

【英語科　シラバス】

科目名	論理・表現Ⅰ			使用教材	教科書	be English Logic and Expression I clear (いいずな書店)
学　年	1	単位数	2		副教材	be English Logic and Expression I clear Essential Grammar Book 総合英語 be
科・コース	普通科進学コース					

【授業の概要】

「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」「書くこと」の３領域を中心とした基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに,聞いたり,読んだりして得た情報や考えなどを論理的に発信できるような思考力・判断力・表現力を身につけられることを目標とした授業です。またコミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて,ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め,豊かな言語観を育成することも目標としています。

【学習方法と授業の進め方】

「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」「書くこと」を中心とした活動を教科書中心で授業を進めていきます。さらに各レッスンで出てきた知識・技能を定着させるために文法項目を中心とした学習を,ワークブックを利用しながら進めていきます。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・各レッスンで出てくる文法項目やきまりの特徴に関する事項を理解している。 ・各レッスンで出てくる場面に応じた表現や重要表現とその意味を理解している。 ・各レッスンで出てくる表現などを用いて，事実や自分の考え気持ちを整理し,また状況に応じて即興で伝え合うことや発表する技能,さらに正確に書く技能を身に付けている。 ・事実や自分の考え気持ちを発表するための基本的な語句や文,文法項目事項を身に付けている。	・定期考査の「知識・技能」に関する問題。
②思考・判断・表現	・事実や自分の考え,気持ちなどを即興で伝え合っている。 ・事実や自分の考え気持ちなどを整理し,発表している。 ・事実や自分の考え,気持ちなどを整理し,正確に書いている。	・定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題。 ・発表や書くことを中心とした活動。 ・課題の提出状況。
③主体的に学習に取り組む態度	・基本的な語句や文を用いて，事実や自分の考え気持ちなどを即興で伝え合おうとまたは発表しようとしている。 ・基本的な語句や文を用いて,事実や自分の考え気持ちなどを整理し,発話したり,正確に書こうとしている。	・授業中やペアやグループワークでの発言や参加態度。 ・ワークブックや課題等の提出状況。

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・教科書に事前に目を通し，基本的な語彙や表現を言うことや書くことができるように準備しておきましょう。
・授業では,意欲的な発言やペアワーク・グループワーク,発表の際にも積極的に参加しましょう。
・ワークブック等の課題の提出期限は厳守しましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Lesson 1 Meeting People Lesson 2 Holidays and Weekends	Lesson 1 現在形：状態動詞 / 現在形：動作動詞 / 現在進行形 / 現在進行形：予定 Lesson 2　過去形 / 過去進行形 / used to		
	5	Lesson 3 Making Plans Lesson 4 Travel	Lesson 3 will / be going to / will be + ing 形 / when や if のあとの現在形　Lesson 4 現在完了形：完了・結果 / 現在完了形：経験 / 現在完了形・現在完了進行形：継続 / 現在完了形と過去形		
	6	Lesson 5 Study and Activities Lesson 6 Food Culture	Lesson 5 過去完了形：完了・結果 / 過去完了形・過去完了進行形：継続 / 過去完了形：大過去 / will have +過去分詞　Lesson 6 can / be able to, can / can't. may / might, may (might) have 過去分詞	2	
	7	Lesson 7 School Life Lesson 8 Daily Life	Lesson 7 must / have to, should / had better. must / should, should / must have +過去分詞 Lesson 8 will / would, would often, would, will / can / shall		
第2学期	9	Lesson 9 Transportation Issues Lesson 10 Future Activities	Lesson 9 受動態の基本形 / 受動態の疑問文 / 進行形・完了形の受動態 / 感情を表す受動態 Lesson 10 不定詞の名詞用法：主語・補語 / 不定詞の名詞用法：目的語 / 疑問詞+不定詞 / 不定詞の意味上の主語と否定語	3	
	10	Lesson 11 Staying Healthy Lesson 12 New Products	Lesson 11 不定詞の形容詞用法 / 不定詞の副詞用法：目的/原因・根拠/不定詞の進行形・受動態・完了形 Lesson 12 SVO+不定詞 / 使役動詞+名詞+動詞の原形 / 知覚動詞+名詞+動詞の原形 / 不定詞の進行形・受動態・完了形	3	
	11	Lesson 13 Hobbies and Interests Lesson 14 The World of Nature	Lesson 13 動名詞：主語・補語/動名詞：目的語/動名詞の意味上の主語と否定語/動名詞の受動態・完了形 Lesson 14 分詞の限定用法 / 分詞形容詞 / 分詞の叙述用法 / 分詞を使う表現		
	12	Lesson 15 Trouble and Accidents Lesson 16 Inventions	Lesson 15 SVO+分詞 / 知覚動詞+名詞+分詞 / 分詞構文 / with+名詞+分詞 Lesson 16 関係代名詞：主格 / 関係代名詞：目的格 / 前置詞と関係代名詞 / 関係代名詞：what	16	
第3学期	1	Lesson 17 Cities and Towns Lesson 18 Living Environment	Lesson 17 関係副詞：where / 関係副詞：when / 関係副詞：why・how / 複合関係詞 Lesson 18 原級を使う比較 / 倍数や分数を使う比較 / 比較級を使う比較 / 比較対象の示し方	11 11	
	2	Lesson 19 Social Problems Lesson 20 Making Wish	Lesson 19 最上級を使う比較 / 最上級を使う比較 / 最上級を使う表現 / 原級・比較級の表現 Lesson 20 仮定法過去 / 仮定法過去完了 / I wish・If only / as if	11	
	3	1年間のまとめ	1年間の総復習		

【英語科　シラバス】

科目名	基礎英会話Ⅰ			使用教材	教科書	プレップイングリッシュ Reading やさしい英文の読みかた(旺文社)
学　年	1	単位数	1		副教材	Data Base 3300
科・コース	普通科進学コース					

【授業の概要】

日常生活の様々な場面で必要とされる基礎的な語彙や表現を学び，簡単な英語でコミュニケーションが図れる能力を養います。また，社会的出来事にも関心を持ち，自分の意見や感想を整理してわかりやすく相手に伝える能力を養います。外国の国々の文化・習慣・歴史に関する知識を深め，異文化理解を図ります。

【学習方法と授業の進め方】

日本人教師と ALT（外国人教師）のティームティーチングで授業を進めます。基本的には教科書に沿って，日常生活のさまざまな場面を想定したスキットを基に語彙や表現を学び，聞き取ったり会話したりできるようにするために，教師の指示に従い単語や表現を読んだり書いたり，またペアワークやグループワークを通して練習します。間違いを恐れることなく，積極的に発言してください。しかし，１週間に１度の授業では，時間的に全く足りませんので，家庭において何度も教科書を読み返したり単語練習をしたりするなど習得に向けて努力をする必要があります。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・英語の音声や語彙・表現を正しく理解し，活用することができる。 ・日常生活の身近な話題についての会話や文章を聞いたり読んだりして理解することができる。 ・簡単に書かれた英語の地図・記事・広告などを見たり読んだりして必要な情報を探すことができる。 ・世界の国々の歴史や文化に関心を持ち，異文化に対する知識や理解を深めることができる。	・定期考査の「知識・技能」に関する問題。
②思考・判断・表現	・身近な話題について，やり取りをしながら会話を続けることができる。 ・さまざまな主題について，意見やその理由を語と語や文と文のつながりなどに注意しながら書いたり話したりすることができる。 ・聞いたり読んだりしたことについて，感想や意見を述べたり書いたりすることができる。	・定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題。
③主体的に学習に取り組む態度	・基本的な語彙や表現を身に付けて，様々な話題について積極的に表現しようと努力することができる。 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加し，発言することができる。 ・課題に対して意欲的に取り組み，能力向上に向けて努力することができる。	・授業中やグループワークでの発言や参加態度。 ・課題の提出状況。

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

予習　教科書に目を通し，基本的な語彙や表現を書いたり言ったりすることができるようにしておく。
授業　間違いを恐れることなく，積極的に発言したり，ペアワークやグループワークに参加したりする。
復習　教科書のスキットや基本的な表現を何度も声に出して繰り返し，自然に発声することができるようにする。
演習　普段から様々な話題に関心を持ち，自分の意見や考えを述べることができるようにしておく。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Unit 1 What did your dog eat?	アメリカにおける有名な「言い訳」を題材に、基本的な英語の構文について学ぶ。自分なりの言い訳表現を考え、会話の中で活用する。		
	5	Unit 2 Teenagers today	近年の若者に関しての物語を通して、「Some ～,others…」「Thanks for～ing」の構文を理解する。		
	6	Unit 3 The latest fashion ?	流行のファッションに関する文章を読み，アメリカにおける若者文化に対して理解を深める。 「That's why～」「第二文型の look」について学ぶ。 自分にとっての最近の流行を他者に伝える。		
	7	Unit 4 Ig Nobel Prize	イグノーベル賞に関する文章を読み、その狙いや探究を続ける大切さを学ぶ。「現在完了形」と「使役動詞」の使い方を理解する。	9	
第2学期	9	Unit 5 A funny mistake	外国語学習における失敗を題材にした物語を読み、間違いを恐れずにコミュニケーションを試みる大切さを学ぶ。感情に関する表現を習得し、会話の中で活用する。		
	10	Unit 6 Droodle	想像力や独創性を題材に基本的な図形の名称を学ぶ。関係代名詞 who に関する表現を使って会話する。		
	11	Unit 7 British English and American English	イギリス英語とアメリカ英語の違いを学び、それぞれの文化に理解を深める。「Can I～？」の表現を習得し、会話の中で活用する。		
	12	Unit 8 Thanksgiving Day and Black Friday	各国の行事についての題材を通して、助動詞の受動態について学ぶ。日本の行事について調べ、英語で発表する。		
第3学期	1	Unit 9 Too kind?	公共交通機関におけるアナウンスの表現を学ぶ。 「how to +動詞の原形」の表現を習得する。		
	2	Unit 10 :-) and (^^)	「顔文字」に関する文章を読み、オリジナルの顔文字を創作して相手に使い方を伝える。「something+形容詞」の表現を学ぶ。		
	3	まとめ	これまでに学んだ表現を復習する。		

【保健体育科　シラバス】

科目名	体育			使用教材	教科書	MY SPORTS（大修館書店）
学　年	1	単位数	2		副教材	なし
科・コース	普通科　進学コース					

【授業の概要】

運動の合理的な実践を通して、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、運動能力や体力の向上を図り、自主自立を身につけた豊かな人間性の育成を重点においています。
生涯を通して継続的に運動ができる資質や能力を育てる科目です。

【学習方法と授業の進め方】

・体育委員が集合、整列、準備運動を行います。
・授業の内容説明と健康状況の確認をします。
・個々のレベルを把握し初歩的な技術を習得します。
・ゲーム形式で行います。
・整理運動と授業のまとめをします。

【学習評価】

・スキルテストを始め下記の観点別学習評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。 また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。	①授業中の行動観察 ②スキルテスト ③ゲーム(簡易ゲームも含む)
②思考・判断・表現	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	①授業中の行動観察 ②グループ学習 ③スキルテスト ④ゲーム（簡易ゲームも含む）
③主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	①授業中の行動観察 ②グループ学習 ③スキルテスト ④ゲーム（簡易ゲームも含む）

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・学校指定の体操服、シューズを着用してください。また、こまめに洗濯し衛生面に気を付けましょう。
・授業はチャイムと同時に始めますので、休み時間のうちに活動場所に移動してください。
・見学者は授業前に申し出るようにしましょう。
・貴重品の管理をしっかりと行うようにしてください。
・安全面には充分気を配りましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	集団行動	・集合解散　・号令　・礼　・整列整頓　・ラジオ体操 ・気を付け休めの姿勢　・列の増減、開列	3	
	5	集団行動	・方向転換　・行進　・行進からの方向転換 ・かけ足　・まとめ、評価	3	
	6	新スポーツテスト (1)オリエンテーション (2)８種目を実施	・学習内容の理解、安全性とマナーについて ・50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、持久走	3	
	7	(3)まとめ、評価	・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび ・まとめ、評価	3	
第2学期	9	バレーボール (1)ボールに慣れる (2)基本パス	・ボールを使ってまずはバレーボールに慣れる ・アンダーハンドパス、オーバーハンドパス	3	
	10	(3)基本パス (4)サービス	・直上パス、対人パス ・対人パス、円陣パス、いろいろなパスに挑戦 ・１対１でコントロール、アンダーハンドサービス	3	
	11	(5)サービス (6)チーム練習・ゲーム	・いろいろなサーブに挑戦 ・チーム分け、コンビネーション作り、リーグ戦	3	
	12	(7)ゲーム (8)まとめ	・リーグ戦 ・まとめ、反省	3	
第3学期	1	サッカー (1)オリエンテーション (2)ボールに慣れる	・学習内容の理解、安全性とマナーについて ・ボールリフティング、パス	3	
	2	(3)基本練習 (4)ゲーム	・キック、トラップ、ドリブル、シュート ・正規のルールによるリーグ戦	3	
	3	(5)まとめ、評価	・まとめ、評価	3	

【音楽科　シラバス】

科目名	音楽Ⅰ			使用教材	教科書	音楽Ⅰ　Tutti+(教育出版)
学　年	1	単位数	1		副教材	なし
科・コース	普通科　進学コース					

【授業の概要】

学校の中で、日々、繰り返される様々な出来事の中、唯一「楽しい」しいう字をあてられたもの、それが　”音楽”です。音楽は、文字通り「音を楽しむ」ものです。決して「音が苦」になってはいけません。音楽をする喜び、楽しみを味わい、芸術に対する興味、関心も深めましょう。またその活動を通して人間性を育み感性を豊かにする事こそ音楽Ⅰの目標です。

【学習方法と授業の進め方】

音楽Ⅰの授業の中心は「歌」です。独唱曲を中心に、歌唱力を身につけ、世界の多くの歌、日本の歌に触れていきます。特に外国の歌では、イタリア語、ドイツ語の歌曲も取り上げ、原語で歌って行きます。２学期には、リコーダーも取り入れて、独奏、重奏など、リコーダーの基本から応用まで、教科書の曲以外の曲にも挑戦。最近の JPOP の曲も取り入れて行きます。また充実した音響と映像設備によるクラシック、日本音楽鑑賞、ミュージカル鑑賞等も行います。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声(奏法)との関わり，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声(奏法)，言葉の発音，身体の使い方、奏法などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【知】日本語の抑揚，アクセント，リズムなどの言葉の特性及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】音符の特性を生かしてリコーダー演奏技能を身に付け，表現している。 【知】鑑賞において曲想や表現上の効果と音楽の構造ミュージカルについての知識を理解している。	定期考査、授業中の歌唱やリコーダーの発表等
②思考・判断・表現	音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもってどのように歌うか、演奏するかについて思いや意図をもっている。 自分や社会にとっての音楽の意味や価値，音楽表現の共通性や固有性について考え，曲や演奏に対する評価とその根拠について、ミュージカルやクラシック音楽日本の歌舞伎の良さや美しさを自ら味わって鑑賞している。	定期考査、歌唱やリコーダーの実技試験
③主体的に学習に取り組む態度	ドイツ語、イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 日本語の抑揚や間，語感，歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され，曲想を生み出しているかに関心をもつ。 リコーダーの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ミュージカルの表現力の発見、オーケストラの響き，ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりする面白さに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽鑑賞のノート提出、授業中の歌唱練習観察、リコーダー練習観察、ミュージカル、クラシック音楽、歌舞伎等の鑑賞態度等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど
音楽は、特に予習も復習も必要ありません。その代わり、週２回の貴重な時間、積極的な取り組みを期待します。音楽を理解し、愛好する心情を育むには、能動的なかかわり方が求められます。決して受身にならず、主体的な姿勢で授業に臨むことが必要です

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	校歌を覚えよう 美しい発声 日本の歌(1)	入学当初は、まず校歌を覚えるとともに、高校生にふさわしい美しい発声をマスターすることから始めます。昔から歌われてきた有名な日本の歌を学習。	16	
	5	ドイツの歌を歌おう 日本の歌(2)	世界でも有名なドイツ語で歌う歌曲を勉強します。変わった発音、ウムラウトなど、ユーモアを含めて楽しく歌って行きます。有名な日本の歌も学習します。	16	
	6	イタリアの歌を歌おう 楽典 音楽鑑賞 日本の歌(3)	イタリアのカンツォーネと言えば、世界を代表する歌です。その魅力をあますことなく味わいます。また簡単な音楽の知識の学習、音楽鑑賞も行います。	16	
	7	世界の歌 楽典 音楽鑑賞	イギリス、イタリア、ドイツの歌を総合的に探究し、歌いこんでゆきます。音楽理論を学びます。クラシック音楽をわかり易く解説しバロックを鑑賞します。	16	
第2学期	9	リコーダーの基本を学習 日本の歌を吹いてみよう 卒業式歌	リコーダーの基本的な運指をマスターしよう。中学時代、楽器を経験しなかった生徒でも安心。ゆっくり進んでゆきます。名曲「ふるさと」をマスターします。卒業式歌		
	10	リコーダーの応用 アンサンブルの基礎 世界の歌　卒業式歌	リコーダーの楽器の構造、歴史などを学びます。曲はポピュラーな楽譜を用意、楽しみながら演奏。世界の歌を歌う　また卒業式歌を歌う		
	11	リコーダーアンサンブルを楽しもう 世界の歌　卒業式歌	歌のような合唱と同様、リコーダーでも二重奏、三重奏を吹いてみると楽しさが倍増します。世界の歌を歌う。また、卒業式歌を歌う		
	12	リコーダーの名曲に挑戦！ベートーベン交響曲「第九番」第９番の歌唱	ソロでリコーダーを吹いてみよう。今までの成果を発表する機会です。ベートーベンの第九。ベートーベンの人生、歴史についても触れてみます。卒業式歌		
第3学期	1	歌舞伎を研究しよう オペラを楽しもう ミュージカル鑑賞　① 卒業式歌	長唄「勧進帳」について学習、鑑賞。オペラ「魔笛」について研究、鑑賞します。ミュージカル「ウエストサイド物語」「オペラ座の怪人」を鑑賞します。卒業式歌を歌う。	10	
	2	ミュージカル鑑賞　② 交響曲や変奏曲を学ぼう	ミュージカル「サウンドオブミュージック」の鑑賞。バレエ音楽「ボレロ」や、変奏曲「パガニーニ大練習曲集」やラフマニノフの曲を研究します。。	10	
	3	アジアの音楽を味わおう ピアノ曲について ミュージカル鑑賞　③	中国、韓国、日本の名曲を歌います。世界中の有名なピアノ曲を少しずつ切り取って鑑賞します。高校生ミュージカルとして有名な「ハイスクールミュージカル」の鑑賞をします。	10	

【情報科　シラバス】

科目名	情報Ⅰ			使用教材	教科書	最新情報Ⅰ（実教出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	最新情報Ⅰ学習ノート（実教出版） 最新情報Ⅰ第6章 Python 版＋ノート（実教出版）
科・コース	普通科　特別選抜コース・特別進学コース・進学コース					

【授業の概要】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1） 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
（2） 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
（3） 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【学習方法と授業の進め方】

教科書を使用して、講義・実習をすすめていきます。実習ではタブレットを活用し、課題の提出などもペーパーレスを目指しています。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	情報と情報技術を問題の発見･解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	･定期考査の知識･理解に関する問題 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見･解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	・定期考査の思考・応用問題 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題プリント

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

中学校でも情報について学んできたと思いますが、高校の情報は幅広く学びます。身近な内容ですので、ぜひ積極的に取り組んでください。また、実習については、タブレットを活用していきます。情報以外の教科でも活用していくため、ぜひ積極的に活用するよう心がけ、使いこなしてください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第1章　情報社会と私たち 1　情報社会 ①情報社会と情報 ②情報の特性 ③情報のモラルと個人に及ぼす影響	 情報社会の現状について理解する。 情報の特性について理解する。 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。		
	5	2　情報社会の法規と権利 ①知的財産 ②情報の利用と公開 ③個人情報の保護と管理 3　情報技術が築く新しい社会 ①社会の中の情報システム ②情報技術と課題解決	 知的財産権について理解する。 他人の著作物を適切に利用したり，自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 個人情報とプライバシーについて理解し，それらを保護する方法を身に付ける。 社会の中で利活用されている情報技術について理解する。 様々な情報技術について理解し，課題解決の方法をについて考える。		
	6	第2章　メディアと情報ﾃﾞｻﾞｲﾝ 1　ﾒﾃﾞｨｱとｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ①メディアの発達 ②メディアの特性 ③ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの形態 ④ｲﾝﾀｰﾈｯﾄのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 2　情報ﾃﾞｻﾞｲﾝ ①社会の中の情報ﾃﾞｻﾞｲﾝ ②情報ﾃﾞｻﾞｲﾝの工夫	 メディアには種類があることを理解し，メディアの発達について知る。 メディアの特性について理解し，目的に応じたメディアを選択することができる。 コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 情報を正確に，わかりやすく伝える方法について理解する。		
	7	3　情報デザインの実践 ①文書の作成 ②プレゼンテーション ③Web ページ	 報告書やレポート，論文を作成するための手順について理解する。 プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 Web ページ作成の方法について理解する。	4	
第2学期	9	第3章　システムとデジタル化 1　情報システムの構成 ①コンピュータの構成と動作 ②ソフトウェアとインターフェース 2　情報のデジタル化 ①アナログとデジタル ②2 進数と情報量 ③演算の仕組み	 コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。 2 進数と情報量の関係について理解する。 コンピュータの演算の仕組みを理解する。		
	10	④数値と文字の表現 ⑤数値の計算 ⑥音声の表現 ⑦静止画と動画の表現 ⑧情報のデータ量	数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 音声をデジタルで表現する方法について理解する。 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。		
	11	第4章　ネットワークとセキュリティ 1　情報通信ネットワーク ①ネットワークの構成	 情報通信ネットワークの構成について理解す		

		②情報通信の取り決め ③Web ページとメールの仕組み ④転送速度とデータ圧縮	る。 ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する。 Web ページとメールの仕組みについて理解する。 ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。		
	12	2　情報セキュリティ ①脅威に対する安全対策 ②情報セキュリティの確保 ③安全のための情報技術 第5章　問題解決とその方法 1　問題解決 ①問題解決 ②問題の発見 ③問題の明確化	 脅威に対する様々な安全対策について理解する。 情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 問題解決の手順について理解する。 問題の発見の方法について理解する。 問題を明確化する方法について理解する。		
第3学期	1	④解決案の検討 ⑤解決案の決定 ⑥解決案の実施と評価 2　データの活用 ①データの収集と整理 ②データ分析と表計算 ③データの可視化 ④データ分析の手法 ⑤データベースとは	解決案を検討したり，整理・分析したりする方法について理解する。 合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。 実行した解決案を評価する方法について理解する。 データを収集したり，整理したりする方法について理解する。 表計算ソフトの活用方法について理解する。 データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 データ分析の手法について理解する。 データベースの種類とその仕組みについて理解する。	4	
	2	3　モデル化 ①モデル化とｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ ②モデルの分類 ③モデル化の手順 ④モデル化の手法 ⑤モデル化をする時の注意 4　シミュレーション ①シミュレーションの実際 ②モンテカルロ法 ③モデル化とシミュレーションによる問題解決	 モデル化の意味について理解する。 モデル化の分類について理解する。 モデル化する手順と方法を理解し，様々なモデルを作成する。 シミュレーションの意義について理解し，確率的モデルのシミュレーションを行う。 問題解決のためにシミュレーションを活用する。		
	3	第6章　アルゴリズムとプログラミング 1　プログラミングの方法 ①アルゴリズムとその表記 ②プログラミング言語 2　プログラミングの実践 ①プログラミングの方法 ②関数を使用したﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ③探索と整列のプログラム	 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 変数を使用したプログラムを作成する。 関数を使用したプログラムを作成する 多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。	4	